

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：病理細胞検査研究班 提出日：2019年 10月 7日 報告者：藤田 智洋

行事種別	基礎講座	行事番号	190011169
開催日	2019年 9月 15日 (土)		
時間	開始	9時 00分	終了 16時 00分
場所	名古屋大学医学部保健学科 (所在地 名古屋市東区)		
テーマ	子宮がん Up-to-Date		
生涯教育履修点数	専門教科 20点		
司会	小牧市民病院	藤田 智洋	
講師	名古屋大学医学部附属病院	原 稔晶	
	公立西知多総合病院	角屋 雅路	
	愛知県がんセンター病院	森 正彦	
	ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社	大橋 健太	
内容	<p>講演1 「子宮がんの病理検査」原</p> <p>子宮がんの統計や子宮の解剖などの総論に加えて、病理組織標本を作製する上での注意点、進行期分類、組織学など日常業務に欠かせない知識や忘れがちなポイントを解説して頂いた。</p> <p>講演2 「子宮内膜細胞診のみかた」角屋</p> <p>内膜の細胞診に重点を置き、正常の子宮内膜細胞から悪性である類内膜腺癌、漿液性腺癌、ホルモンの影響による細胞形態変化など多くの画像をもとに鑑別ポイントを詳細に解説して頂いた。</p> <p>講演3 「子宮がんの臨床」森</p> <p>HPV ワクチンに関連する統計や、診察の仕方、実際の手術ではどのように子宮摘出をしていくかなど普段私たちが見ることのない手技の動画を見ながら詳しく解説して頂いた。</p> <p>講演4 「子宮頸部細胞診とハイリスク HPV 持続感染のエビデンス」大橋</p> <p>日本における子宮頸がん検診のガイドラインから HPV 検査に関する日本と海外の現状、液状化検体細胞診の原理と従来法との違いの講義して頂き、液状化検体細胞診の標本作製デモと標本観察をおこなった。</p> <p>内膜細胞診の検鏡実習</p> <p>内膜細胞診の標本 25 症例を、解説シートを参考に、鏡検実習をおこなった。</p>		

	<p>子宮がんにおける細胞診の役割は極めて大きく、病理細胞診検査でも特に関わりの大きい分野であるため、“子宮がん Up-to-Date”のテーマで基礎講座をおこなった。</p> <p>午前中の講義では総論から治療までを学び、活発な質疑応答が関心の高さを表していた。午後の実習では内膜細胞診のみ、正常から悪性まで 25 症例の検鏡をおこない大変有意義な基礎講座になった。</p>
参加者	<p>総数：70名（会員 67名、県外会員 0名、非会員 0名、賛助会員 0名、学生 1名、その他 2名）</p>
共催、後援など	

2016.6.28